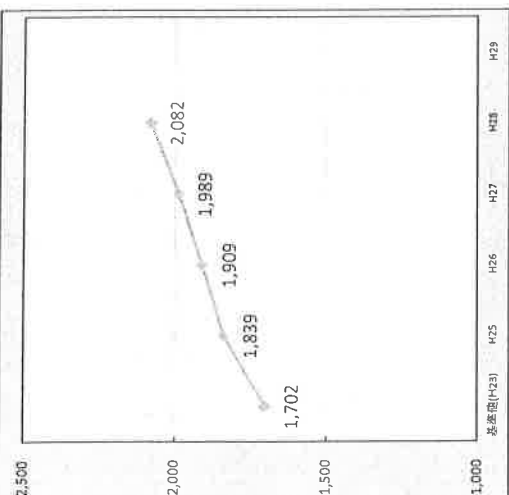

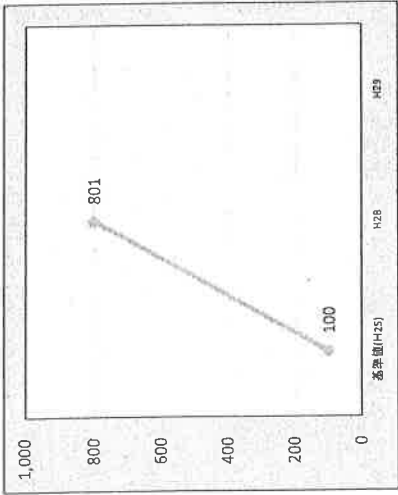
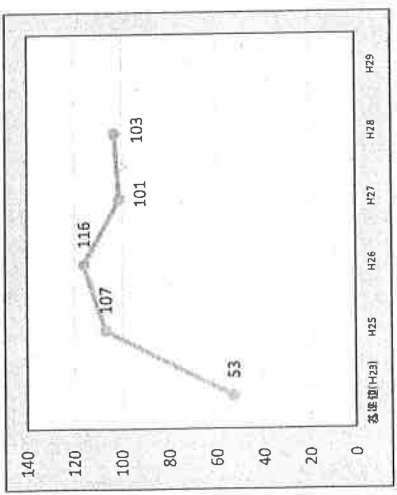


番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
66	地域の教育に貢献する人材の育成	スキルを社会に還元する機会の充実 学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数及び活動の充実	<p>学校・家庭・地域が連携した地域の課題解決を支援するため、防災生涯学習を中心としたまちづくりのキーパーソンとして養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、小学校区に派遣する。</p> <p>養成した「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」を、学校・家庭・地域とをつなぐ役割を担うキーパーソンとして、牟岐町防災キャンプに7名、阿南市幼小中合同防災教育夏季研修会に7名、2箇所へのべ14名を派遣した。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td></td> <td></td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> <td>スペシャリストの活動の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 地域の防災、減災をテーマとして、地域住民および児童・生徒とともに「避難所設置」「非常食調理」「防災紙芝居」などの実践的な研修活動を支援することで、世代間交流を図ることができた。</p> <p>(課題) スペシャリストの自主的な活動の支援が必要。</p> <p>スペシャリストの自主的な活動についてサポートしていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	14	41	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実			スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
14	41	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実			スペシャリストの活動の充実	スペシャリストの活動の充実													
担当課 生涯学習課 取組方針 基本方針4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現																					
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
67	多様なニーズに対応した学習機会の提供	学習支援体制の充実 マナビイセンターの利用者数	<p>マナビイセンターは、県民の生涯学習の拠点として、生涯学習推進の場を提供するとともに、各種研修や講座の開催により、県民のライフステージに応じた多様な学習機会の場を提供する。</p> <p>マナビイセンター内の「図書コーナー」や「視聴覚ライブラリー」等の6つのコーナーの機能を十分に生かせるような運営に努めた。特に、利用者の利便性を考慮した書籍の配置換えや模様替えを適宜行った。また、来所者の増加に繋がる情報発信も定期的・積極的に行なった。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46,877</td> <td>48,069</td> <td>49,997</td> <td>50,819</td> <td>52,875</td> <td></td> <td>103.7%</td> <td>51,000</td> <td>52,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 購入した図書や視聴覚教材の周知や各月のおすすめ図書・おすすめビデオ・DVDを広報し貸出数の増加に努めるとともに、県民のニーズに合わせた主催講座の新規開講等によるまなびいルームの利用者増加など、一定の成果を上げることができた。</p> <p>(課題) 限られた予算を有効に活用するため、利用状況に応じた需要の高い図書や視聴覚教材の購入を図る必要がある。また、新規の図書や視聴覚教材については、積極的に広報をしていく必要がある。さらに、毎年新しい講座を開講し、受講生の裾野を広げることが必要である。</p> <p>図書コーナーや視聴覚ライブラリー、交流コーナー、まなびいルームなど、マナビイセンターの機能を十分に生かした運営をこれまで以上に推進するため、マスコミを積極的に利用した広報活動を展開するとともに、チラシ等の配布方法にも工夫を加えることで、主催講座や親子で楽しむ映画会の参加者増加、図書や視聴覚教材の利用者増加などに繋げていく。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	46,877	48,069	49,997	50,819	52,875		103.7%	51,000	52,000
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
46,877	48,069	49,997	50,819	52,875		103.7%	51,000	52,000													
担当課 総合教育センター																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
68	学びの環境の充実	文化の森総合公園文化施設の充実 文化の森総合公園各文化施設入館者総計(累計)  担当課 文化の森振興本部	事業目的 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただける新顔で魅力ある事業を実施する。 取組状況(H28年度分) 平成28年度は、「トクシマ恐竜展」や「ベルギー近代美術の精華展」を開催したほか、文化の森各館において様々な企画展や多くの県民に親しまれるイベント等を実施した。 ・博物館 企画展 3回 特別陳列 1回 ・近代美術館 特別展 2回 企画展 1回 ・鳥居龍藏記念博物館 季節イベントとして、「文化の森 こどもの日フェスティバル」、「文化の森サマーフェスティバル」、「文化の森大秋祭り!!」、「文化の森ウィンターフェスティバル」を開催 「文化の森大秋祭り!!」, 「文化の森ウィンターフェスティバル」を開催 (単位:万人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,702</td> <td>1,839</td> <td>1,909</td> <td>1,989</td> <td>2,082</td> <td></td> <td>101.8%</td> <td>2,045</td> <td>2,125</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	1,702	1,839	1,909	1,989	2,082		101.8%	2,045	2,125	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 文化の森総合公園文化施設において、文化や芸術に直接触れ合う機会の充実を図り、多くの県民に足を運んでいただける新顔で魅力ある事業を実施する。 (成果) 魅力的な企画展やイベントを実施し、多くの来館者を集めることができた。特に幅広い世代に人気のある恐竜に焦点をあてた「トクシマ恐竜展」(7/15~9/19)は6万人以上の来館者を集める人気の企画展となり、平成28年度は過去最多の入館者数となった。 (課題) 学術的、専門的活動に基づき資料の収集、展示を引き続き実施するとともに、多様な文化を発信するための、より魅力ある手法の開発が必要である。 より一層、民間との連携を図り、若年層の来場が旨込める「デジタルアート展」のほか、「県立図書館100周年記念事業」の開催など、魅力のある企画展・イベントを実施するとともに、県民のニーズを的確に把握し、文化施設としてさらなる利便性向上及び県民の芸術文化活動の促進に努める。 地域住民のニーズに応じた講座や催し物の充実が図られ、生涯学習の場としてライフステージに応じた地域住民の学習機会を提供する。
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
1,702	1,839	1,909	1,989	2,082		101.8%	2,045	2,125														
69	学びの環境の充実	生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数  担当課 総合教育センター	事業目的 生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数 取組状況(H28年度分) 平成28年度の徳島県生涯学習情報システム改修により、システムがCMS化された。同時にホームページのアクセス解析を「Awstats」から「Google Analytics」で行うようになり、ブラウザや端末の種類別にアクセス状況が把握できるようになった。 (成果) 県内各地の講座・イベント情報をスムーズに提供でき、アクセス回数も安定してきたことで、目標値を達成することができた。 (課題) ホームページの構成がやや複雑であることやホームページデザインの老朽化のため、ホームページをリニューアルする。パソコンやタブレット、スマホ、従来型携帯電話等の端末からのアクセス解析を行い、端末の特性に応じた情報提供心がけることで、年齢的、身体的条件にかかわらず情報が取得できる「ウェブアクセスナビ」に配慮したホームページ作りを進めていく。	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 生涯学習各種講座・イベント情報アクセス回数 平成28年度の徳島県生涯学習情報システム改修により、システムがCMS化された。同時にホームページのアクセス解析を「Awstats」から「Google Analytics」で行うようになり、ブラウザや端末の種類別にアクセス状況が把握できるようになった。 (成果) 県内各地の講座・イベント情報をスムーズに提供でき、アクセス回数も安定してきたことで、目標値を達成することができた。 (課題) ホームページの構成がやや複雑であることやホームページデザインの老朽化のため、ホームページをリニューアルする。パソコンやタブレット、スマホ、従来型携帯電話等の端末からのアクセス解析を行い、端末の特性に応じた情報提供心がけることで、年齢的、身体的条件にかかわらず情報が取得できる「ウェブアクセスナビ」に配慮したホームページ作りを進めていく。																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																									
70	学びの環境の充実	ライフステージ等に応じた学習環境の充実 牟岐少年自然の家を拠点とし、地元住民との交流を含む自然体験・交流体験等への参加者数 	牟岐少年自然の家の体験活動の拠点として、地域の自然や文化活動を活かした自然体験、交流体験、食育等を実施し、幅広く利用に努める。 「ヘルスアップin牟岐」「もうすぐお正月」など、地域の住民や商工会、婦人会の協力により、地域の自然を活かした体験活動が行われ、県内各地から多くの人たちが参加した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>801</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> <td>達成率(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>267.0%</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> (成果) それぞれの事業に多くの関心が寄せられ、毎年参加者が増えている。特に事業に参加した大学生たちが、牟岐の自然や地域の人たちのあたたかさに触れ、牟岐を拠点とした自主的な活動を展開するきっかけとなった。 (課題) 地域との関わりが実感できる体験活動が行われるよう、内容や日程の工夫を図っていく必要がある。 参加者のアンケート等を参考にしながら、事業全体の評価・改善を図り、より効果的な事業を実施する。 今後の取組方針	(単位:回)					基準値(H25)	H26	H27	H28	H29	100	—	—	801	—				達成率(H28)	達成率(H29)				267.0%	800
(単位:回)																												
基準値(H25)	H26	H27	H28	H29																								
100	—	—	801	—																								
			達成率(H28)	達成率(H29)																								
			267.0%	800																								
71	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	郷土とくしまに気づき学ぶ機会の充実 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍藏記念博物館の学校への講師派遣回数 	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 学芸員等専門職員が学校で出前授業を行うことにより、子供たちの郷土に対する理解を深める。 学校からの依頼に応じて、講師を派遣した。 ・博物館 49回 ・文書館 5回 ・近代美術館 47回 ・鳥居龍藏記念博物館 2回 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H23)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>107</td> <td>116</td> <td>101</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成率(H28)</td> <td>達成率(H29)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>147.1%</td> <td>70回以上</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 子供たちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができた。 (課題) 博物館、近代美術館、文書館、鳥居龍藏記念博物館の保有する資料を活用し、次世代を担う子供たちに対する郷土の学習を推進することが求められている。 文化の森各館の所蔵する資料の貸出や学芸員等の講師派遣をより一層進め、学校教育との連携を強化する。 今後の取組方針	(単位:回)					基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	53	107	116	101	103				達成率(H28)	達成率(H29)				147.1%	70回以上
(単位:回)																												
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28																								
53	107	116	101	103																								
			達成率(H28)	達成率(H29)																								
			147.1%	70回以上																								

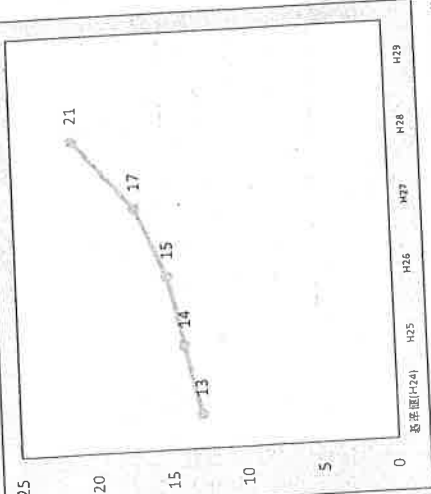
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
72	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 保存団体による継承・活用事業の開催への支援 担当課 教育文化課	事業目的 取組状況 (H28年度 分)	保存団体の活動を支援するなどして、県民が伝統文化に触れ、体験する機会を充実させ、本県が誇る伝統文化の継承と活用を図る。 教育文化課に事務局を置く徳島県地域伝統文化総合活性化委員会が、次世代を対象に「阿波人形じょうり伝承教室」を開催した。また、重要無形民俗文化財「阿波人形浄瑠璃頭」に部活動で取り組む高校・中学校を活性化させるため、重要有形民俗文化財「犬飼の舞台」において「第1回ジュニア浄瑠璃フェスティバル」を開催した。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> (成果)「阿波人形じょうり伝承教室」の継続実施により、伝統文化の次世代の担い手を育成することができた。「第1回ジュニア浄瑠璃フェスティバル」には、兵庫県の高校も出演し、県域を越えた交流を図ることができた。また、人形浄瑠璃に加えて、「阿波藍」に取り組む高校生の活動を「阿波藍ファンクション」として紹介することができた。 (課題)「阿波人形じょうり伝承教室」「ジュニア浄瑠璃フェスティバル」等の開催は、伝統文化の継承としての成果はあげることができたが、今後、伝統文化の公開・活用を促進する手法の確立が求められている。 国の「文化遺産総合活用推進事業」「伝統文化親子教室事業」等を活用し、伝統文化の継承・活用事業を継続する。特に「阿波人形浄瑠璃」や「藍染め」の次世代継承者による公開活用事業を推進し、より一層育成の充実を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	—	推進	推進	推進	推進		推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
—	—	推進	推進	推進	推進		推進	推進														
73	郷土とくしまから学ぶ機会の充実	伝統文化の継承と活用 ふるさと人材バンクの登録人数 担当課 教育文化課	事業目的 取組状況 (H28年度 分)	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 県内の文化財や伝統文化に関する授業ができる方々に「ふるさと文化人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録人数の増加に努めるとともに、学校においてふるさと徳島の文化に触れる機会を増やすことで、ふるさとを愛し、将来徳島の魅力について県内外で発信できる次世代の創造をめざす。 学校に「ふるさと人材バンク」の活用を周知するとともに、1年を通じて「ふるさと人材バンク」への追加登録に努めた。また、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>72</td> <td>69</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>73</td> <td>102.7%</td> <td>73</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> (成果)「ふるさと文化人材バンク」の登録者数の拡大に努め、学校への人材派遣事業でのバンク活用を促めた結果、多くの方が学校での出前授業で活躍することができた。 (課題)各学校の文化芸術活動が活性化されるよう多様な人材を確保し、周知に努める必要がある。 「ふるさと文化人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、県内人材等と学校とのニーズを把握しながら、新規の人材開拓に努める。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	60	72	69	72	75	73	102.7%	73	75
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)														
60	72	69	72	75	73	102.7%	73	75														

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

国指定文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。

施策・成果指標

文化財の保存と活用
史跡等指定・選定数(追加指定を含む)



基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
13	14	15	17	21	21	116.7%	18	22

1 「鳴門坂野古墳群」が国史跡に指定され、「牟岐町出羽島」が重要伝統的建造物群保存地区に選定された。
2 国史跡「阿波通路道」について、焼山寺道・一宮道(神山町)、恩山寺道・立江寺道(小松島市)、鶴林寺境内(勝浦町)、太龍寺境内(阿南市)、雲辺寺道(三好市)が追加指定された。

(成果) 関係市町と連携して取り組んだ結果、史跡では1件の指定と2件の追加指定、重要伝統的建造物群保存地区で1件の選定が実現した。

(課題) 国の指定・選定に向けた調査が終了したものの、住民の理解が得られなため、取組が停滞している事例がある。

取組が停滞している事例については、文化庁と連携し、市町村の取組を支援する。「阿波通路道」については、総合政策課と協力し、市町村と役割分担のもとで文化財調査等を進め、着実に追加指定を進める。

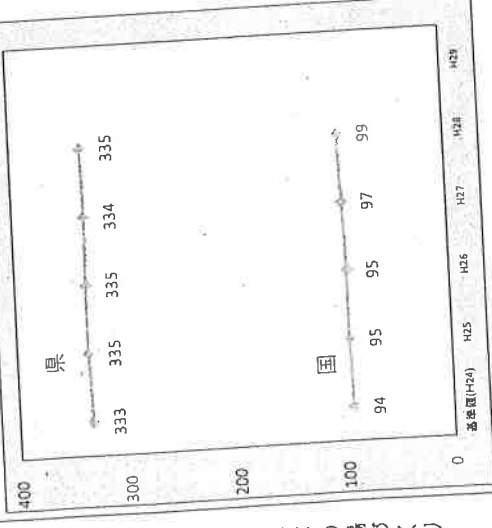
今後の取組方針

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

担当課 教育文化課

施策・成果指標

文化財の保存と活用
国・県指定文化財件数



文化遺産を活用した学びの場づくり

事業目的

取組状況(H28年度分)

国指定・県指定等の文化財を保全し、活用する取組を推進するなかで、地域の活性化を図る。
1 鳴門市の「鳴門坂野古墳群」が国史跡に、那賀町の「阿波の太布製造技術」が重要無形民俗文化財に指定され、「牟岐町出羽島」が重要伝統的建造物群保存地区に選定された。また、「阿波通路道」関係では2件が国史跡に追加指定された。一方、重要文化財「紙本墨書仲文草残巻」が兵庫県に所在場所変更されたため、国文化財件数は99となった。また、重要文化財「海正八幡神社の秋季例祭行事」が無形民俗文化財、吉野川市の「阿波手漉き和紙製造の技法」が無形文化財(工芸技術)、徳島市井戸寺の「真言宗小野流相承師像」が有形文化財(絵画)、吉野川市の「川島廃寺跡」が史跡に指定された。一方、国史跡「鳴門坂野古墳群」指定に伴い、県指定史跡2件を解除した。

(単位:件)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
94	95	95	97	99	99	103.1%	96	101
333	335	335	333	335	335	99.4%	337	338

(成果) 国指定は目標に到達し、適切に文化財を保存することができた。県指定は目標に到達しなかったが、県史跡が国史跡に上位指定されたことにより2件を解除したことによるもので、4件を新指定し、成果を上げることができた。

(課題) ・国の指定・選定については、調査が終了したものの、住民の理解が得られなため、取組が停滞している事例がある。
・県指定については、文化財保護審議会委員の調査を経て審議が必要で、指定まで時間を要する。

・国の指定・選定については、文化庁と連携し市町村の取組を支援する。
・県指定については、文化財保護審議会委員との日程調整により、迅速な指定に努める。

・国、県指定とも、市町村や所有者と協力し、活用を図る。

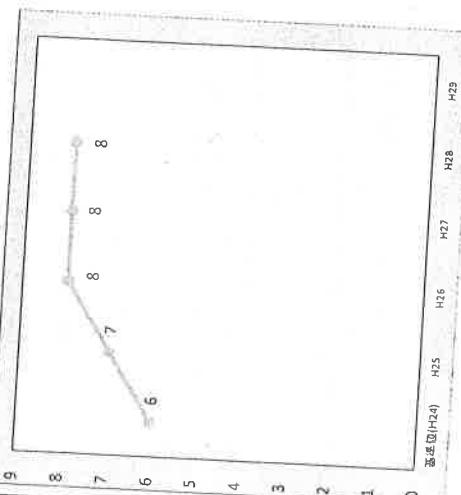
評価

今後の取組方針

担当課 教育文化課

76	文化遺産を活用した学びの場づくり	文化財の保存と活用 文化財防災対策の実施	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 南海トラフの巨大地震等の災害から、貴重な文化財を守る。	事業目的 取組状況 (H28年度 分)	近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定に基づく文化財建造物の被災調査に関する要請の改正検討会において、建造物だけでなく、文化財全般について拡大し、被災時の調査について検討した。また、市町村教育委員会を通じて文化財所有者に対して防災・防犯に関する注意喚起を文書等により行った。	基礎値 —	H25 文化財ハザードマップの作成	H26 文化財個別カルタの作成	H27 文化財個別カルタの作成	H28 文化財防災対策の充実	H29 文化財防災対策の充実	目標値(H28) 達成率(H28) 目標値(H29) 目標値(H29)	(単位:—)
				評価	(成果)被災時の調査について建造物以外の文化財にも拡大することで文化財全般についての被害状況の把握と保全・復旧に対する備えを考えることができた。 (課題)台風が本県に上陸・接近したとき等、市町村に被害報告を求めているが、報告がない市町村があるなど、文化財防災について市町村に温度差がある。								
				今後の取組方針	古風など文化財の被害が予想される際、報告を徹底することから、市町村担当者の文化財防災意識を高める。 市町村教育委員会、文化財所有者と協力し、文化財防災対策を進めていく。								

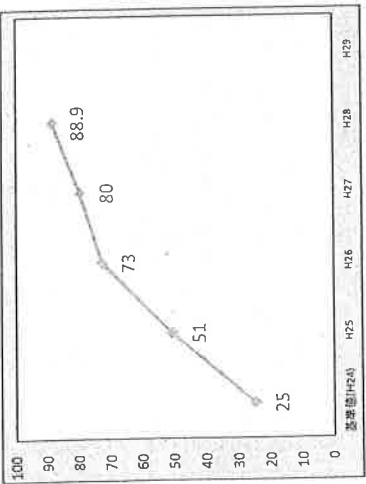
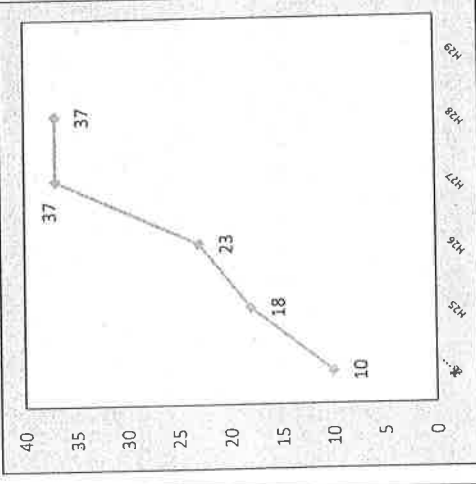
77	文化遺産を活用した学びの場づくり	いにしえ夢街道 活用ゾーン設定数(累計)	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 県内で整備事業を実施または計画している国指定史跡や県・市町村史跡及び、周辺の様々な指定文化財や埋蔵文化財を含む未指定文化財を巡り、これを夢のあるストーリーを持つ「群」として位置づけ、各地の博物館、資料館等とリンクさせることにより活用価値を高め、文化財を活かした地域振興に寄与する。	事業目的 取組状況 (H28年度 分)	1. 勝浦町・阿南市活用ゾーンの主題である「通路道」周辺の史跡の活用を図るため、阿南市若杉山遺跡を題材に講演会「朱の考古学するpart II」を開催した。また、阿南市加茂町において地域展を実施した。 2. 各ゾーン間の連携を図るため、活用ゾーンを結ぶ「通路道」を舞台に「通路道ウォーキング」を実施しているが、今年度は、小松島市の「愿山寺・立江寺道」においてウォーキングイベントを開催した。	基礎値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28) 目標値(H28) 目標値(H29)	(単位:ゾーン)
				評価	(成果)既設定ゾーンの活用を図るとともに、各ゾーンをつなげる取組である「通路道ウォーキング」を実施することができた。 (課題)各市町村が進めるゾーン内の史跡等の活用を支援するとともに、地域連携により広域の文化財の活用を図っている。	6	7	8	8	8	100.0%	8	8
				今後の取組方針	地震津波碑など、広域に分布する同様の文化財を一括して活用を図るため、シンポジウムやウォーキング等を開催する								

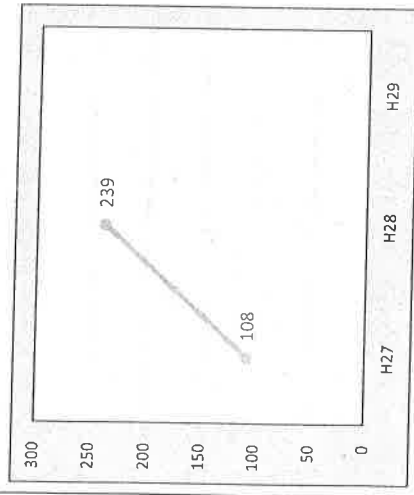
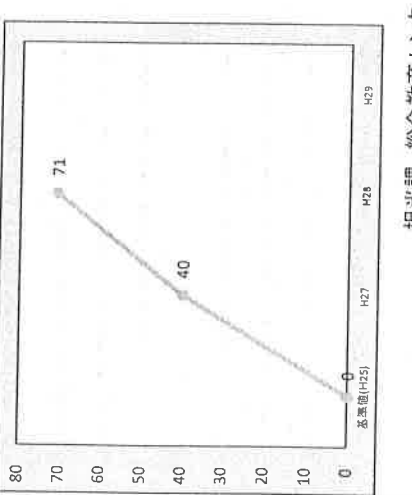


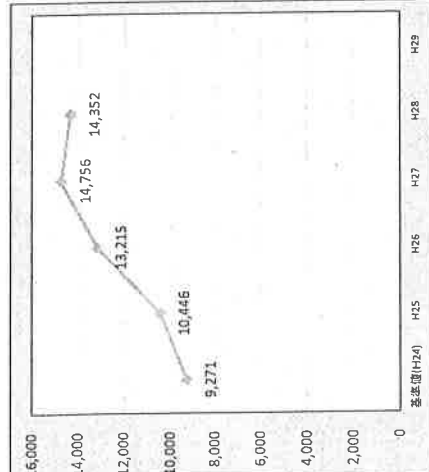
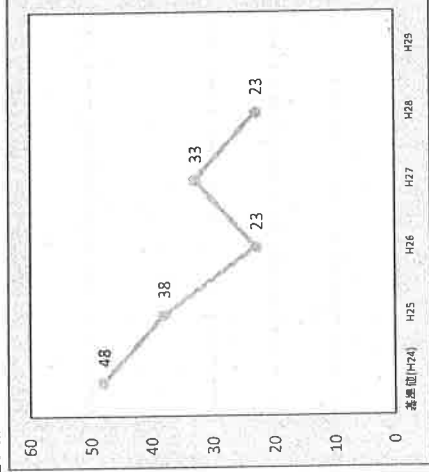
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																
78	文化遺産を活用した学びの場づくり	<p>担当課 教育文化課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</p> <table border="1"> <caption>いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	参加人数	130	134	123	340	350	150	<p>事業目的</p> <p>県内の史跡・文化財についての講演会を開催することによって、史跡・文化財の総合的な活用を図り、県民の文化財保護意識を醸成するとともに、県民による文化財の活用を進める。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>勝浦町・阿南市活用ゾーンの主題である「通路道」周辺の史跡の活用を図るため、阿南市吉杉山遺跡を題材に講談会「朱の考古するpartⅡ」を開催した。また、阿南市加茂町において地蔵展を実施した。県立埋蔵文化財総合センターでは「四国通路と渦潮展」、「先人からのメッセージ南海地震津波碑展」を実施し、幅広い文化財を対象に利用促進を図った。</p> <table border="1"> <caption>(単位：人)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>130</td> <td>134</td> <td>123</td> <td>340</td> <td>350</td> <td>150</td> <td>233.3%</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「いにしえ夢街道」活用ゾーン内の関連史跡の情報発信を促進することができ、文化財保護意識の向上や地域資源としての文化財の活用につなげることができた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 通路道や地震津波碑等、「活用ゾーン」を越えて広域にわたる文化財を利用した事業を企画し、「活用ゾーン」間の連携を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>地震津波碑の登録を記念したシンポジウムを実施するなど、これまでに活用が少なかった県南ゾーンを含め、より広域での活用を進める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	130	134	123	340	350	150	233.3%	150	150
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																													
参加人数	130	134	123	340	350	150																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																											
130	134	123	340	350	150	233.3%	150	150																											
79	学び続ける場と機会の充実	<p>担当課 生涯学習課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>各種団体の活性化・人材育成 生涯学習・社会教育関係職員対象の研修</p> <table border="1"> <caption>いにしえ夢街道 いにしえ講演会参加人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	参加人数	2	3	2	4	2	2	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>市町村教育委員会の生涯学習及び社会教育指導員を対象とした研修会や事業説明会を実施し、職員のスキルアップを図るとともに、県と市町村の連携を強化する。</p> <p>事業目的</p> <p>徳島県社会教育研修大会での活動実践事例をもとにしたワークショップにより、社会教育推進の機運を高め、ネットワークづくりにつなげた。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>また、社会教育フェアシリテーターを養成するとともに、市町村教育委員会担当者に対し、国の動向や県の施策について、研修会を開催した。</p> <table border="1"> <caption>(単位：回)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>200.0%</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県内の社会教育委員や社会教育関係団体等の参加があり、多様な活動について、意見・情報の交換を進めたことで、参加者の意識向上が図られた。また、社会教育担当職員の情報共有化が図られた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 市町村の社会教育関係職員および社会教育関係者のネットワークをさらに強化し、地域での取組推進や新たな連携につなげていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>県内の社会教育委員、社会教育関係団体関係者等を対象とした研究会への参加者の拡大と、内容の更なるブラッシュアップを行う。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	2	3	2	4	2	200.0%	2	2
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																													
参加人数	2	3	2	4	2	2																													
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																											
—	2	3	2	4	2	200.0%	2	2																											

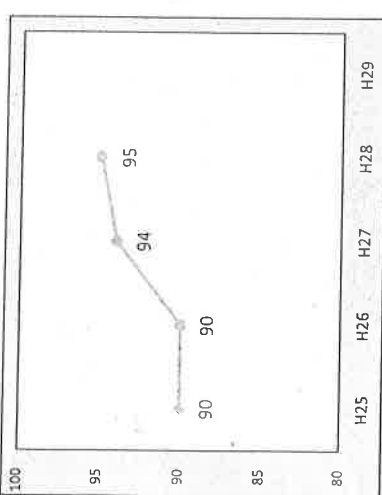
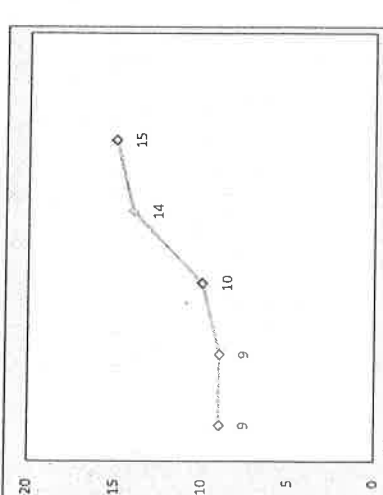
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
80	生涯スポーツの充実 総合型地域スポーツクラブ会員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,800</td> <td>8,640</td> <td>9,141</td> <td>9,115</td> <td>9,341</td> <td></td> <td>84.2%</td> <td>11,100</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	7,800	8,640	9,141	9,115	9,341		84.2%	11,100	12,000	<p>スポーツを活用し、地域の様々な課題を解決するため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を支援するとともに、誰もが楽しめる生涯スポーツの普及を図るものである。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの創設・運営及び活動内容に関する指導・助言を行うとともに、総合型クラブにおける健康の保持・増進のためのプログラム作成及び普及、市町村との連携によるスポーツ実施率向上に向けた取組支援、競技団体との連携による子どもスポーツ体験機会の創出等を行った。</p> <p>(成果) 住民ニーズに対応し、魅力的なクラブ運営を行うために必要人材を育成するとともに、クラブの提供するプログラムやスポーツ体験機会の充実が図られた。</p> <p>(課題) 総合型地域スポーツクラブの認知度向上に向け、活動状況等をPRする必要がある。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの拠点としての機能強化を図るため、市町村、学校、競技団体等と連携した体制づくりを促進するとともに、多面的な視点で総合型地域スポーツクラブの定着と発展を図る。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
7,800	8,640	9,141	9,115	9,341		84.2%	11,100	12,000													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
81	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>担当課 施設整備課</p> <p>担当課 施設整備課</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74.5</td> <td>85.8</td> <td>88.2</td> <td>97.7</td> <td>99.1</td> <td>99.2</td> <td>96.2%</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	74.5	85.8	88.2	97.7	99.1	99.2	96.2%	100	100	<p>公立学校は、その多くが災害時の避難場所指定されており、地震発生時の児童・生徒の安全確保はもろくんのこと、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすことから、全ての学校施設の耐震化を計画的に推進する。</p> <p>H28年度、県立高校では、新野高校において、体育館の耐震改修が完成した。小中学校では、鳴門市、三好市において、耐震改修事業等を実施した。</p> <p>(成果) 耐震化事業を計画的に実施した結果、平成29年4月1日現在の耐震化率は、公立学校全体で98.2%となり、著実に耐震化を進めている。(残り23棟 県新野高校11棟、鳴門市5棟、阿南市4棟、三好市1棟、美波町2棟)</p> <p>(課題) 県立高校については、再編に併せて計画的な耐震化、小中学校については設置者による耐震化整備計画について、早期の確定が必要となっている。</p> <p>早期の公立学校耐震化率100%に向けて、県立高校では、残り1校の新野高校の耐震化を学校再編に併せてH30までに実施し、小中学校については、設置者に対して継続して指導・助言を行うとともに、コスト削減を図りながら、耐震化と併せて施設の老朽化対策にも取り組む。</p>
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
74.5	85.8	88.2	97.7	99.1	99.2	96.2%	100	100													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
82	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害から命を守る教育環境の整備 県立学校避難所施設強化・充実事業の実施校 (事業着手校)</p>  <p>担当課 施設整備課</p>	<p>事業目的 東日本大震災の教訓により、中核的な避難所となる県立学校において、避難所としての安全性とライフラインを確保し、避難生活をサポートする資機材の整備を行う。</p> <p>H28年度は、城西高校など10校で、災害時の非常用電源確保のため、太陽光発電装置と蓄電池を設置した。また、避難者のQOLを向上のため「簡易型トイレ」や「マルチラゲット」などの防災用備品を40校で購入した。</p> <table border="1" data-bbox="263 257 375 1265"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>51</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>88.9</td> <td>95</td> <td>108.4%</td> <td>82</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：%)</p> <p>評価 (成果) 県立学校45校のうち40校において整備に着手し、着実に避難所機能の強化・充実を進めている。 (課題) 引き続き計画的に整備を進める必要がある。</p> <p>今後の取組方針 今後、引き続き避難所機能の向上を図るため、「地震時解錠装置付き鍵ボックス」や「ヘリサイン」による避難場所の安全性の確保、「ポータブル発電機」設置によるライフラインの確保等に取り組み、H30年度までには県立学校45校全てにおいて避難所としての整備を行う。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	25	51	73	80	88.9	95	108.4%	82	95
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
25	51	73	80	88.9	95	108.4%	82	95													
83	安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校の「防災クラブ」の設置数(累計)</p>  <p>担当課 体育学校安全課</p>	<p>事業目的 県立高等学校・中学校に「防災クラブ」を置き、防災ボランティアを育成すること、地域防災の即戦力となる人材を育成すること、避難所支援ができた知識や技術を習得すること、地域防災の即戦力となる人材を育成すること。</p> <p>全ての県立高等学校と県立中学校に防災クラブを設置し、地域を巻き込んだ防災活動や高齢者宅での家具転倒防止器具の設置等、将来の防災の担い手を育成すべく、地域や学校の状況に応じた取組が行われている。</p> <table border="1" data-bbox="821 257 933 1265"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>100.0%</td> <td>全県立中学校・高校に設置</td> <td>全県立中学校・高校に設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：校)</p> <p>評価 (成果) 全ての県立高等学校34校に「防災クラブ」を設置し、防災活動を通して地域と連携した防災ボランティア活動に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成をめざした活動が行われている。 (課題) 全県立高等学校に設置された「防災クラブ」の防災力を高めるため、アイデアと行動力を生かした防災ボランティア活動を校内外で展開する、「防災クラブ」の育成が必要である。</p> <p>今後の取組方針 地域と連携した避難訓練を推進するとともに、各学校の特色を生かした学校防災ボランティア活動を展開し、地域防災の支援側として参画する。さらに、「防災クラブ」間で交流し、活動を全県下に広げていくことを目標とする。また、市町村立中学校にも「防災クラブ」の設置を広げ、地域に根ざした防災活動を展開していく。 被災後の学校再開に向けた教材等の復旧や青空教室等の応急教育の支援については、元教員の支援を得て、円滑な再開を図るために人材登録を進めていく。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	10	18	23	37	37	37	100.0%	全県立中学校・高校に設置	全県立中学校・高校に設置
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
10	18	23	37	37	37	100.0%	全県立中学校・高校に設置	全県立中学校・高校に設置													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
84	安全・安心なとくしまの学校づくり	自然災害等から命を守る教育の推進 高校生防災士養成数(累計) 	<p>事業目的 地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、現役高校生を「防災士」として育成するとともに活用を図り、地域の関係機関や自主防災組織との協働を活性化することにより、地域防災力の強化を図る。</p> <p>全県立高等学校から「防災士」資格取得希望者を募り、徳島県あわつ子防災士養成講座を実施した。研修講座は、日本防災士機構認定研修機関である防災士研修センターに委託して、あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)で実施し、平成28年度は131名が「防災士」の資格を取得した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>108</td> <td>239</td> <td>239</td> <td>108.6%</td> <td>220</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果)「防災士」資格を取得した高校生を育成することにより、「防災クラブ」を活動拠点として、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として活動した。 (課題)「防災クラブ」の活動を継続させるとともに、地域の関係機関や自主防災組織との協働を活性化させるため、地域防災のリーダーとなる現役高校生を対象とした「防災士」を計画的に育成する必要がある。</p> <p>継続して「防災士」資格を取得した高校生を育成することにより、全ての県立高等学校・県立中学校に設置した「防災クラブ」を活動の拠点とするとともに、地域での防災ボランティア活動を展開することで、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として資格取得で身につけた知識と技能の実践を図り、防災ボランティア活動への積極的な参加を進めている。</p>	(単位:人)					基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	-	-	108	239	239	108.6%	220	360
(単位:人)																										
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
0	-	-	108	239	239	108.6%	220	360																		
85	安全・安心なとくしまの学校づくり	担当課 体育学校安全課 施策・成果指標 自然災害等から命を守る教育の推進 県立学校における防災士の資格を有する教員の配置率 	<p>事業目的 災害時における県立学校の避難所開設時に、学校の避難所運営支援等の要として、防災訓練等における地域連携での協働し役など、学校・地域・地域が連携した防災活動の実践力の向上を図るため、防災士の資格を有する教員を計画的に養成し、すべての県立学校に配置を進める。</p> <p>平成28年度は前年に引き続き、県立学校から防災士資格取得に意欲のある教員を募集選考の上、11名が徳島県地域防災推進員養成研修に参加した。その後、日本防災士機構の防災士資格取得試験を受験し11名全員が合格を果たした。資格取得した教員は校内において防災活動を活性化させるだけでなく、地域の防災リーダーとして職務を遂行している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:%)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40</td> <td>71</td> <td>71</td> <td>118.3%</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 (成果)学校防災計画の実行では、指導的役割を担い教職員の防災対応能力の向上を図り、学校が実施する地域との防災活動では学校の窓口としてコーディネーター役を務め地域の防災力の向上に寄与している。 (課題)人事異動により配置校の変更があることから、今後の防災士養成研修への参加者を教員から候補者の選出を行う必要がある。さらに、地域防災推進員養成研修への参加者を教員から候補者にまで広げることがある。</p> <p>引き続き、防災士取得に意欲のある教員を募集するとともに、募集時期・期間の検討や、未配置校からの選出を働きかける。防災士の資格を取得した教員のスキルアップのために、防災人材育成センター等と連携を図り、外部関係機関の実施する研修も有効に活用するとともに、各校が行っている取組事例について情報共有を図る連絡体制を整備する。</p>	(単位:%)					基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	0	-	-	40	71	71	118.3%	60	80
(単位:%)																										
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
0	-	-	40	71	71	118.3%	60	80																		

推進項目	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
番号 86 安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>施策・成果指標</p> <p>登下校・部活動・体育授業時の安全確保 学校安全ボランティアの登録数</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,271</td> <td>10,446</td> <td>13,215</td> <td>14,756</td> <td>14,352</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率(H28)</th> <th>H29</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>102.5%</td> <td></td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業目的 子どもたちが安全・安心して教育が受けられるよう、学校や通学路の子どもの安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。</p> <p>市町村にスクールガードリーダーの配置を協力依頼し、学校安全ボランティア(スクールガード)の養成に努め、県内の全小学校校区において学校安全ボランティア(スクールガード)が、登下校時の見守り活動を実施した。</p> <p>評価 (成果) スクールガードリーダー連絡協議会を実施し、学校安全ボランティアの安全確保及びびスクールガード養成講習会等の情報交換を行い、児童数減少が続く状況にあって、登録数の確保を図ることができた。</p> <p>今後の取組方針 (課題) 小学校の統合及び休校により、学校安全ボランティアの増加が難しくなる。現状数を維持していくために、市町村に対してスクールガード養成講習会等の開催を依頼していく必要がある。</p> <p>スクールガードリーダー連絡協議会を実施し、登下校時の事故防止等について情報交換を行い、学校安全ボランティア(スクールガード)の共通理解を図りながら、幼児・児童生徒の安全確保について整備をしていく。全ての小学校校区において見守り活動を行い、中学校区においても安全マップの活用や不審者情報等の連絡体制の整備を進める。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>熱中症事故の予防と事故発生時の適切な対応について研修会を実施し、事故防止に対する教師の指導力向上に努め、登下校・部活動・体育授業時の児童生徒の安全確保を図る。</p> <p>小学校・中学校・高等学校・特別支援学校から1名ずつの教職員が参加し、大学教授を講師に迎え熱中症予防の研修会を実施した。また、学校安全教室として、県医師会と連携し救急救命講習(AED研修会)を実施した。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td>30人以下</td> <td>30人以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 学校教育活動中に、「熱中症」の症状を呈して、医療機関を受診した児童・生徒数は、平成28年度23名と減少している。また、児童・生徒に症状が発生した場合は、迅速に応急手当や適切な処置が行われている。</p> <p>(課題) 今後も、継続して熱中症予防の研修会や救急救命講習を実施し、教職員や児童・生徒に登下校・部活動・体育授業時における、熱中症の予防対処法や熱中症になった時の適切な処置について指導していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 熱中症の発生するリスクが高くなる夏期(6月～9月)前には、熱中症に対する注意喚起を促す通知を学校に発出するとともに、熱中症について正しい知識を持って十分な予防を心がけること、そして万一、熱中症になった時には適切な処置を行うことが出来るよう、今後も継続して研修会を実施していく。</p>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	9,271	10,446	13,215	14,756	14,352	14,000	達成率(H28)	H29	目標値(H29)	102.5%		14,000	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48	38	23	33	23			30人以下	30人以下
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																
9,271	10,446	13,215	14,756	14,352	14,000																																
達成率(H28)	H29	目標値(H29)																																			
102.5%		14,000																																			
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																													
48	38	23	33	23			30人以下	30人以下																													
番号 87 安全・安心なとくしまの学校づくり	<p>担当課 体育学校安全課</p> <p>施策・成果指標</p> <p>登下校・部活動・体育授業時の安全確保 学校管理下において熱中症の症状を呈して医療機関を受診した児童生徒数</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>23</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業目的 熱中症事故の予防と事故発生時の適切な対応について研修会を実施し、事故防止に対する教師の指導力向上に努め、登下校・部活動・体育授業時の児童生徒の安全確保を図る。</p> <p>小学校・中学校・高等学校・特別支援学校から1名ずつの教職員が参加し、大学教授を講師に迎え熱中症予防の研修会を実施した。また、学校安全教室として、県医師会と連携し救急救命講習(AED研修会)を実施した。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>標準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td>30人以下</td> <td>30人以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:人)</p> <p>評価 (成果) 学校教育活動中に、「熱中症」の症状を呈して、医療機関を受診した児童・生徒数は、平成28年度23名と減少している。また、児童・生徒に症状が発生した場合は、迅速に応急手当や適切な処置が行われている。</p> <p>(課題) 今後も、継続して熱中症予防の研修会や救急救命講習を実施し、教職員や児童・生徒に登下校・部活動・体育授業時における、熱中症の予防対処法や熱中症になった時の適切な処置について指導していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 熱中症の発生するリスクが高くなる夏期(6月～9月)前には、熱中症に対する注意喚起を促す通知を学校に発出するとともに、熱中症について正しい知識を持って十分な予防を心がけること、そして万一、熱中症になった時には適切な処置を行うことが出来るよう、今後も継続して研修会を実施していく。</p>	標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	48	38	23	33	23		標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	48	38	23	33	23			30人以下	30人以下						
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29																																
48	38	23	33	23																																	
標準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																													
48	38	23	33	23			30人以下	30人以下																													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
88	安全・安心なとくしまの学校づくり	教育相談体制の充実 スクールカウンセラーの職務に対する学校の評価 (満足度) 	<p>児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを、公立小中学校及び県立学校に配置し、相談活動の充実を図り生徒指導上の諸問題を解決することを目的としている。</p> <p>板野高等学校及び徳島県立支援学校を拠点校に、徳島県立支援学校及び城南高等学校を対象校に加え、スクールカウンセラーの県立学校への配置拡充を図った。スクールカウンセラーの資質の向上に関しては、年度末に提出を求めているスクールカウンセラー活用事業実施報告書において、校長によるスクールカウンセラーに対する評価を3段階で実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：%)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>95</td> <td>95</td> <td>100.0%</td> <td>95</td> <td>95以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) スクールカウンセラーの資質向上に関しては、年2回のスクールカウンセラー連絡協議会における研修及び臨床心理士会が隔月1回行っている研修会を県教育委員会も後押しをすとともに、スクールカウンセラーの自己評価制度を取り入れ、資質の向上につなげている。</p> <p>(課題) スクールカウンセラーの人材確保が困難な状況である。また、県立学校への配置や派遣の拡充を推進する必要がある。</p> <p>今後とも、スクールカウンセラーの資質向上のため、徳島県臨床心理士会の協力をもち研修会を実施するとともに、スクールカウンセラーに助言・指導を行うスーパーバイザーを配置し資質の向上を図る。</p> <p>県立学校の拠点校化、適応指導教室への配置拡充を図るとともに、スクールカウンセラーの常勤的な配置により教育相談の充実に取り組み。</p>	(単位：%)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-	90	90	94	95	95	100.0%	95	95以上
(単位：%)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
-	90	90	94	95	95	100.0%	95	95以上																		
89	安全・安心なとくしまの学校づくり	教育相談体制の充実 スクールソーシャルワーカー配置数 	<p>児童生徒の問題行動のうち、学校だけでは解決が困難な事例に対応するため、より高度で専門的な知識を有する社会福祉士と精神保健福祉士をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校の要請に応じて福祉的視点から児童生徒の把握や適切な指導方法及び対応方法等について指導助言を行うことにより、問題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを15名委嘱し、全市町村立小中学校及び県立学校の要請に応じた派遣した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>107.1%</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 公立小学校1校、中学校1校、高等学校延べ3校・特別支援学校延べ2校から要請を受け、問題行動を繰り返す児童生徒への対応について、環境の改善等、福祉的な視点から指導助言を行い、学校及び保護者の問題解決能力の向上を図ることができた。また、精神保健福祉士を新たに配置した。</p> <p>(課題) 各学校からの要請に応じてスクールソーシャルワーカーの人材確保が困難な状況である。また、スクールソーシャルワーカーの迅速な対応が難しい場合がある。また、スクールソーシャルワーカーの体制を整備するため、福祉関係機関の協力のもと、スクールソーシャルワーカーを8地区(13市町教育委員会)に配置し、それぞれ所管する小中学校に対して、児童生徒や保護者への支援、関係機関との連携、働き掛け等ができる体制を整備する。また、福祉関係機関の協力のもと、スクールソーシャルワーカーの人材確保を図るとともに、資質向上のための研修会を実施する。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	9	9	10	14	15	15	107.1%	14	15
(単位：人)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																		
9	9	10	14	15	15	107.1%	14	15																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																								
90	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	新たな高校教育の創造 再編高校の開校	<p>事業目的 県内の生徒数が減少していく中、各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動等を実施し、活力と魅力ある教育活動を展開していくため、高校再編を推進する。</p> <p>取組状況(H28年度分) 阿南市地域において、開校準備委員会により、新高校開校に向けた協議を進めた。また、三好市・東みよし町地域において、池田高校、辻高校、三好高校と教育委員会事務局による再編統合推進委員会を設置し、平成29年度の再編統合に向けた準備を加速した。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1地域再編計画策定</td> <td>開校準備</td> <td>再編高校開校</td> <td>1地域再編計画策定・開校準備</td> <td>再編統合準備</td> <td></td> <td>/</td> <td>再編統合準備</td> <td>再編統合校設置・開校準備</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 (成果) 阿南市地域の高校再編では、新高校開校に向けた準備を進めるとともに、新高校の校名を阿南光高校に決定した。また、三好市・東みよし町地域の再編統合の学則、学校運営等について決定した。</p> <p>(課題) 阿南工業高校、新野高校の再編統合による阿南光高校の開校のために、調整すべき課題を十分に検討する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 引き続き、阿南市地域の再編統合による阿南光高校の開校に向けた準備を進めていく。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 少子化の進行に伴う学校の小規模化への対応など、中長期的な教育課題に対する調査・研究を行い、社会の変化に対応した魅力ある高校教育の創造に取り組む。</p> <p>取組状況(H28年度分) 平成27年度に策定した徳島県農工商教育活性化方針に基づき、6次産業化商品のプロデュースに取り組んだ。また、中長期的な教育課題に対する調査・研究として、他県との情報交換を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-</td> <td>報告書作成</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td></td> <td>/</td> <td>個別計画策定・実施</td> <td>計画実施</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 (成果) 農工商教育の枠を超え、専門高校等が協働し、専門教育の新しい取組を従来の県央から、県南、県西へも広げることができた。</p> <p>(課題) 引き続き中長期的な教育課題に対する調査・研究を継続しながら、取組を始めている計画等を着実に推進していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 取組を始めている計画等を着実に推進していくとともに、時代や社会のニーズに応じた高校の魅力力化・特色化、将来の生徒数減少への対応など、本県高校教育の在り方について検討を進める。</p>	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	1地域再編計画策定		開校準備	再編高校開校	1地域再編計画策定・開校準備	再編統合準備		/	再編統合準備	再編統合校設置・開校準備	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	-		報告書作成	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施		/	個別計画策定・実施	計画実施
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																		
1地域再編計画策定		開校準備	再編高校開校	1地域再編計画策定・開校準備	再編統合準備		/	再編統合準備	再編統合校設置・開校準備																																		
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																		
-		報告書作成	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施	個別計画策定・実施		/	個別計画策定・実施	計画実施																																		
91	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	新たな高校教育の創造 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施	<p>事業目的 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり</p> <p>取組状況(H28年度分) 新たな高校教育の創造 高校教育の在り方に関する報告書の作成、個別計画の策定・実施</p> <p>評価 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり</p>																																								

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
92	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	特色ある学校づくり 消費者教育の充実に向けた取組の推進 担当課 学校教育課 施策・成果指標	<p>近年、消費者事故・トラブルの内容は複雑化・多様化しており、成年年齢引き下げに伴う若年者の消費者トラブルの増加が懸念されている。自立した消費者として合理的な意思決定を行うことができ、さらには、よりよい社会の発展のために積極的に参画することができている。自立的な消費者として合理的な意思決定を行うことができる消費者の育成を図る。</p> <p>消費段階に応じた消費者教育の推進を図るための「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」及び人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」の推進に向けて研究調査を行う「『エシカル消費』推進プロジェクト」などの事業に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値(H28)</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値(H29)</th> <th>H29</th> <th>達成率(H29)</th> <th>目標準値(H29)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>（成果）「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」 研究指定校：小学校1校、中学校1校、高校3校、「講演・出前授業」：小中高校51校、「エシカル消費」推進プロジェクト 研究指定校：高校1校 発達段階に応じた取組を推進するとともに、研究指定校の成果について、報告書を作成・配布するなど普及することができた。</p> <p>（課題）成年年齢引き下げを見据えた消費者教育の充実や、人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」の推進に対する取組を充実・推進していく必要がある。</p> <p>「TOKUSHIMA消費者教育活性化事業」では、児童生徒の発達段階に応じた各学校段階での消費者教育を推進するため、教員研修の充実や各事業指定校の取組の普及・広報を引き続き推進するとともに、高等学校においては「エシカル消費」の推進に対する取組を牽引する「リーダーズグループ」「エシカルクラブ」を設置すること等、徳島県ならではの消費者教育を推進する。</p>	（単位：件）				基準値	H25	H26	H27	—	—	—	—	（単位：件）				基準値(H28)	H28	H29	達成率(H28)	—	—	—	—	（単位：件）				基準値(H29)	H29	達成率(H29)	目標準値(H29)	—	—	—	—
（単位：件）																																							
基準値	H25	H26	H27																																				
—	—	—	—																																				
（単位：件）																																							
基準値(H28)	H28	H29	達成率(H28)																																				
—	—	—	—																																				
（単位：件）																																							
基準値(H29)	H29	達成率(H29)	目標準値(H29)																																				
—	—	—	—																																				
93	社会の変化に対応した魅力ある学校づくり	特色ある学校づくり 徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校両校教員の連携・協働による、地域の学校等への相談支援回数 担当課 特別支援教育課 施策・成果指標	<p>徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校が、校舎等を共有する新しい教育を展開するにあたり、両校の専門性を活かした視覚・聴覚障がい教育の充実や特別支援教育推進のための人材育成を図るとともに、両校が連携した特別支援学校の子ども達の課題を見え方、聞こえ方の両面からアプローチするなど、両校が互いの専門性を発揮した教育相談を実施した。地域の学校等への相談支援回数（徳島視覚支援学校142件、徳島聴覚支援学校181件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>430</td> <td>360</td> </tr> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値(H28)</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>323</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <th colspan="4">（単位：件）</th> </tr> <tr> <th>基準値(H29)</th> <th>H29</th> <th>達成率(H29)</th> <th>目標準値(H29)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>（成果）それぞれの学校での来校、出張相談事例において、視覚・聴覚両方の問題が見られた場合に、互いに情報交換や助言を行うなど、より個別のニーズに応じた教育相談が実現できた。また、在籍する盲聾児の指導における連携が図られるとともに、健康診断の際の両校の専門性を活かした検査が実施された。</p> <p>（課題）児童生徒数の減少に伴い、視覚及び聴覚障がいの特別支援学校在籍者数も減少し、相談件数は全体的に減少傾向がある。教員が、見え方、聞こえ方の両面から子ども達の課題に気づくことが大切であり、そのための啓発活動を進める必要がある。</p> <p>教員研修や巡回相談活動を通して、見え方や聞こえ方の問題に気づくポイント等について教員の理解を促す取組を行い、特別支援学校だけでなく通常の学級の児童生徒についてもニーズに応じた対応が実施されるようにする。来校、訪問等で相談対応する事例についての情報交換を活発に行い、見え方、聞こえ方の両面から幅広くチェックできる体制を推進する。</p>	（単位：件）				基準値(H24)	H25	H26	H27	—	—	430	360	（単位：件）				基準値(H28)	H28	H29	達成率(H28)	—	—	323	80.8%	（単位：件）				基準値(H29)	H29	達成率(H29)	目標準値(H29)	—	—	—	400
（単位：件）																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27																																				
—	—	430	360																																				
（単位：件）																																							
基準値(H28)	H28	H29	達成率(H28)																																				
—	—	323	80.8%																																				
（単位：件）																																							
基準値(H29)	H29	達成率(H29)	目標準値(H29)																																				
—	—	—	400																																				

推進項目	推進項目	担当	担当																																				
94	<p>社会の変化に対応した魅力ある学校づくり</p> <p>施策・成果指標 きめ細かな指導体制の整備 35人を上限とする少人数学級編成</p>	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>少人数学級編成を導入することにより、一人一人に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、児童・生徒の生き生きとした学校生活の実現を支援する。</p> <p>全ての小学校全学年及び中学校1年生を対象として35人学級を実施した。 (国の基準を上回って配置した人数) ○小学校2年生17校17人 ○小学校3年生16校16人 ○小学校4年生15校15人 ○小学校5年生16校16人 ○小学校6年生21校21人 ○中学校1年生15校25人 ○小学校5年生16校16人 ○小学校2年生の全ての少人数学級編成の対象校と、3学年の少人数学級編成の対象校のうち、少人数学級を希望する学校を研究校に指定し、35人学級を実施した。(中学校2学年22校22人、中学校3学年17校17人)</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校1～4年・中学校1年に導入</td> <td>小学校1～5年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td></td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> <td>小学校全学年・中学校1年に導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 小学校1年生から中学校1年生まで、連続した少人数学級編成を実施することで、基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るきめ細やかな指導や、中学校生活へのスムーズな適応を図ることができた。</p> <p>(課題) 中学校2・3年生を中心に、少人数学級編成の成果と課題を検証する必要がある。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入		小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	<p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校や地域の人的・物的資源を相互活用することにより、小規模校の存続及び学校の活性化を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>今後とも、少人数学級編成の成果と課題を検証するとともに、チームティーチングや習熟度別指導など少人数指導の効率的な活用を図りながら、きめ細やかな指導の充実を図る。</p>																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
小学校1～4年・中学校1年に導入	小学校1～5年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入		小学校全学年・中学校1年に導入	小学校全学年・中学校1年に導入																															
95	<p>社会の変化に対応した魅力ある学校づくり</p> <p>施策・成果指標 きめ細かな指導体制の整備 チェーンスクール及びバツケージュールの実施地域数</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：地域)</p> <p>(成果) 阿南市榑地区において、テレビ会議システムを引き続き運用。各地域において、小中9年間を見通したカリキュラムを作成し、運用した。教室に居ながらの交流学習や職員会議での活用を図ることにより、教育活動の充実を図るとともに、移動による諸課題の解決につながった。</p> <p>(課題) 小・中学校の相互交流の時間や小中連携活動に係る教職員の打合せの時間の確保を図る</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	2	-	-	6	7	7	100.0%	7	8	<p>事業目的</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H25)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：地域)</p> <p>(成果) 阿南市榑地区において、テレビ会議システムを引き続き運用。各地域において、小中9年間を見通したカリキュラムを作成し、運用した。教室に居ながらの交流学習や職員会議での活用を図ることにより、教育活動の充実を図るとともに、移動による諸課題の解決につながった。</p> <p>(課題) 小・中学校の相互交流の時間や小中連携活動に係る教職員の打合せの時間の確保を図る</p> <p>平成29年度は、チェーンスクールの1地域追加指定し、分散型小中一貫教育の拡充を図るとともに、その成果の普及により実施地域数の更なる拡充を進める。</p>	基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	2	-	-	6	7	7	100.0%	7	8
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
2	-	-	6	7	7	100.0%	7	8																															
基準値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																															
2	-	-	6	7	7	100.0%	7	8																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																								
96	私立学校の振興	<p>私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり 私立学校教育の質の向上、教育の多様性の確保</p> <p>担当課 総務課</p>	<p>公教育の一翼を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づき独自の教育を通じて県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるよう、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。また、私立学校の特徴づくり、魅力アップ、子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援する。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営費補助を行った。また、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会の均等を確保するたため、高等学校等就学支援金や奨学金の給付金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 高等学校等就学支援金等を支給したことにより生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。また、補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、「麗く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の個性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>(課題) 今後も公私間格差是正を図る取組が必要である。</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、預かり保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援する。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>興教育の全体の向上に向けた施策や取組が最大の効果を発揮するために、公立高等学校間の機能分担や連携を強化する。</p> <p>公立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公立高等学校の入試説明会において、私立高等学校の入試説明や取組を紹介した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>推進</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 9月に「公立高等学校連絡協議会」を開催し、公立・私立の関係者が情報共有、意見交換を行い、公立・私立の関係者がそれぞれの現状や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。</p> <p>(課題) 公立高等学校連絡協議会の開催前の、幹事会のあり方について調整が必要である。</p> <p>本県高校教育の一層の充実、振興を図るため、公立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校・私立学校の関係者が公私間にある様々な問題について協議し、相互理解と連絡調整を図る。また、公立学校間での機能分担、連携を強化するため、幹事会において公私連携推進策の検討を行い、連携強化の基盤整備を進めていく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—	支援	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	支援																																		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	支援																																		
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	推進																																		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	推進																																		
97	私立学校の振興	<p>私立学校の健全運営と魅力ある学校づくり 私立学校教育の質の向上、教育の多様性の確保</p> <p>担当課 総務課</p>	<p>公教育の一翼を担う私立学校は、それぞれ建学の精神に基づき独自の教育を通じて県民に多様な教育サービスを提供しており、県民が安心して私立学校を選択できるよう、私立学校の経営の安定及び保護者負担の軽減を図る。また、私立学校の特徴づくり、魅力アップ、子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援する。</p> <p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営費補助を行った。また、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会の均等を確保するたため、高等学校等就学支援金や奨学金の給付金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 高等学校等就学支援金等を支給したことにより生徒の就学機会の確保と保護者の経済的負担の軽減が図られた。また、補助事業の実施により、学校法人の運営及び学校設備の充実、教員の資質向上等教育条件の維持向上とともに、「麗く私学推進事業補助金」を通じて、私立高等学校等の個性的で特色ある活動や、私立幼稚園が実施している預かり保育等に対する補助を行うことにより、特色ある教育活動の充実が図られた。</p> <p>(課題) 今後も公私間格差是正を図る取組が必要である。</p> <p>引き続き、私立学校の振興と教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減、経営の健全性の向上を支援する。私立学校ならではの特色づくり、魅力アップ、預かり保育などの子育て支援の充実について、積極的に努力する学校を支援する。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>興教育の全体の向上に向けた施策や取組が最大の効果を発揮するために、公立高等学校間の機能分担や連携を強化する。</p> <p>公立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公立高等学校の入試説明会において、私立高等学校の入試説明や取組を紹介した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> <th>推進</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 9月に「公立高等学校連絡協議会」を開催し、公立・私立の関係者が情報共有、意見交換を行い、公立・私立の関係者がそれぞれの現状や課題について協議することにより、意思疎通、相互理解が図られた。</p> <p>(課題) 公立高等学校連絡協議会の開催前の、幹事会のあり方について調整が必要である。</p> <p>本県高校教育の一層の充実、振興を図るため、公立高等学校連絡協議会等を開催し、公立学校・私立学校の関係者が公私間にある様々な問題について協議し、相互理解と連絡調整を図る。また、公立学校間での機能分担、連携を強化するため、幹事会において公私連携推進策の検討を行い、連携強化の基盤整備を進めていく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—	支援	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	支援																																		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	支援																																		
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	推進																																		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	推進																																		

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

事業目的
本県教育を担う教職員には、教職に対する強い使命感や高い倫理感のもとより、探求力や教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力、専門職としての高度な知識・技能、さらには、豊かな人間性や社会性等の総合的な人間力が求められており、できる限り多くの大学生に採用審査を受審してもらうよう説明会を開催する。

取組状況 (H28年度分)

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
14	16	17	18	18	18	100.0%	18	19

(単位：回)

中四国、近畿の大学を中心として、18校で教員採用に係る説明会を実施した。

評価
(成果) これまでの本県の採用審査において受審者及び合格者の多い大学での説明会実施に加え、受審者の少ない特定の教科・科目の受審を促すための説明会を実施することができた。

今後の取組方針
(課題) 説明会参加者の多くが当該年度受審予定の4回生であり、今後の志願者数の継続的な確保のためにも、1～3回生の参加者が増えるよう、さらに改善を図る。また、特定の教科・科目の志願者確保は喫緊の課題であり、さらなる取組が必要である。

引続き、教員養成系の大学を中心に訪問しての説明会を開催するなど、積極的な広報活動を行い、優秀な人材の確保に努める。

また、教員を目指す学生により早い段階からアプローチできるよう大学等へも働きかけるとともに、教員養成系以外の大学・学部等での説明会を実施する。

事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針

事業目的
教職員のライフステージに合わせ、経験年数や後職等に応じて実施する研修のほか、学校組織マネジメント等に関する研修や今日的な教育課題や教科指導等に対する知識技能の習得を目的とする研修等を実施し、教員の資質能力の向上を図る。

成果指標に係る研修講座や研修内容を研修計画に位置づけ実施した。

- ・キャリア教育 初任者研修…168名 教職5年次研修…185名
- ・グローバル化 小中高英語パワーアップ講座…166名
- ・ICT活用 初任者研修…175名 新規採用学校栄養職員研修…1名 10年経験者研修…97名 幼稚園教諭10年経験者研修…12名 養護・栄養教諭10年経験者研修…8名 ICT活用指導力向上研修(希望研修)…143名

○合計 955名

取組状況 (H28年度分)

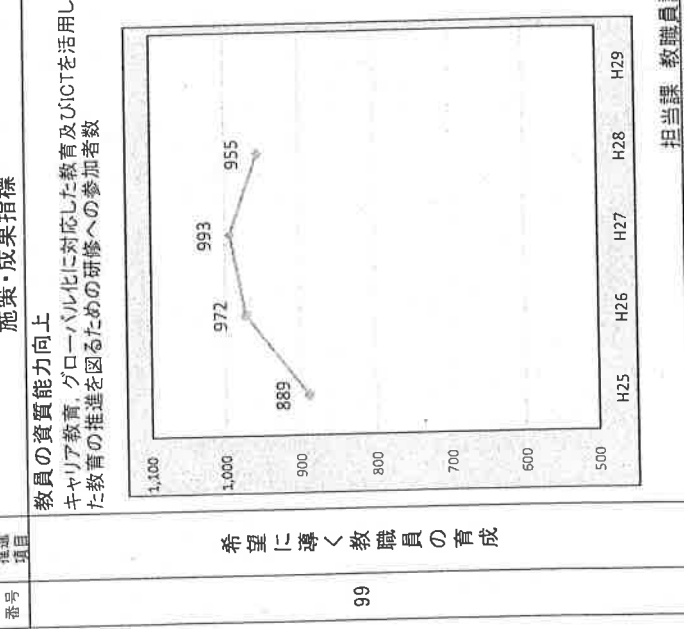
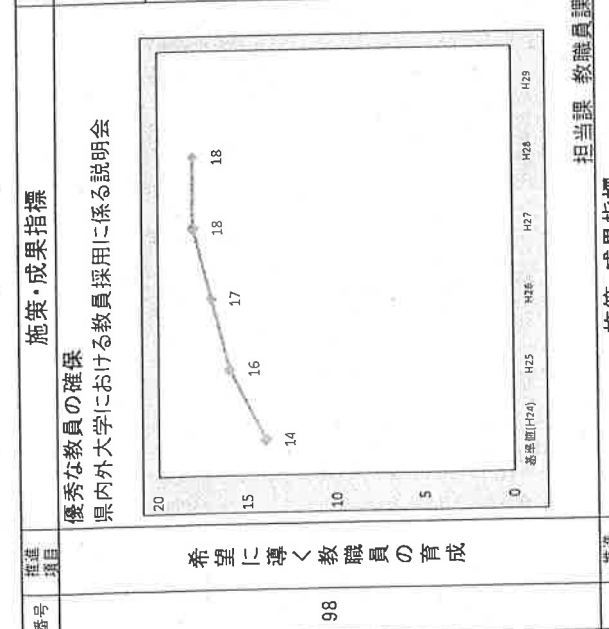
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)
—	889	972	993	955	900	106.1%	900	900

(単位：人)

(成果) 喫緊の課題である成果指標に係る研修講座について、受講者に対するアンケートをもとに、各職種・教科別に研修内容や実施方法を工夫し、より実践的で効果的な研修を実施することができた。

(課題) 教員が日々の業務で様々な対応に追われる中においても自己研鑽に励み、学び続けるモチベーションを維持し、スキルアップを図ることができている研修体系を構築していく必要がある。

今後の取組方針
時代の変化や自身のキャリアステージに応じて求められる資質能力を、生涯にわたって高めていくことができるよう、現在の研修体系を再構築し、「学び続ける教員」を支える研修を効果的・効率的に実施することにより、教員の資質の向上を図る。



希望に導く教職員の育成

希望に導く教職員の育成

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																																						
100	希望に導く教職員の育成	<p>教員の資質能力向上</p> <p>教諭の「特別支援学校が対象とする障がい種に対応した免許状」の保有率</p> <table border="1"> <caption>特別支援学校教諭免許状保有率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>75</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>78</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>97.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>担当課 特別支援教育課</p>	年度	H23	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H23)	72						実績		75	76	78	78	80	目標値(H29)					80	80	達成率(H28)					97.5%		<p>事業目的</p> <p>特別支援学校や小・中・高等学校の教諭等で、特別支援学校教諭免許状（一種、二種）の取得を希望する者に対して、文部科学省が認定する教職員免許法認定講習会を開催し、特別支援学校教諭免許状の取得を促進するとともに、教職員の特別支援教育に関する専門性の向上を図ることを目的とする。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <p>平成28年度は、免許状の取得希望の多い知的障害領域の免許状取得に必要な講座を中心に徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習を6講座開講した。また、視覚障害領域の免許状保有率向上のため、独立行政法人特別支援教育総合研究所免許状認定講習の受講者を3名が受講し、特別支援教育に関する教職員の専門性向上を図ることができた。また、各特別支援学校での説明会の開催により、免許状非保有者に免許状の取得方法及び認定講習受講の理解が得られた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 現在の講座の開設状況では、免許状取得に複数年かかる。また、視覚障害領域、聴覚障害領域については、講座を担当できる講師の確保が困難である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>認定講習の講座改編により7講座を開講し、最速1年で免許状取得できるようにする。特別支援学校に勤務する免許状非保有者については認定講習を職務受講とするとともに、より多くの希望受講者に対応するため、定員を150名に増やす等の取組により、特別支援学校教諭免許状保有率の向上を図り、教員の専門性向上に取り組み、視覚障害領域、聴覚障害領域については、独立行政法人特別支援教育総合研究所免許状認定講習教育を活用する。</p> <p>事業目的</p> <p>これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室から講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 推進員会議、各校長会等の各種会議において、講師派遣の活用を促した。 2 平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のバージョン」の啓発に努めた。 3 「信頼される学校・教職員へのステップ(改訂版)」の活用を促した。 <p>(1) 県立学校(20校)、市町村教育委員会主催の研修会(1)、小中学校(20校)、市立高等学校、都市小学校教育頭会</p> <table border="1"> <caption>コンプライアンス研修実施状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>23</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>220.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>(成果) 各校(所属)の課題や実情に応じた研修内容を作成し、ポイントを絞った研修が実施できることに加え、直接各校の教職員と接してその声を聞くことができたため、大きな意義がある。また、講師派遣の周知も浸透しつつあり、校内研修において年間計画に複数回要請研修を位置づける学校も出てきた。実施後のアンケートでも、肯定的評価は98%を超えた。また、今後の業務において、「大変役立つ」との評価は66%を教えた。</p> <p>(課題) 昨年度に続いて要請を受けた学校も多かったが、まだ未実施の学校も多いため、継続的な研修実施に加えて、新たな研修実施校を増やすために、年度当初に開催される「コンプライアンス推進員会議」において、より積極的に講師派遣を呼びかける。また、市町村教育委員会に働きかけ、県教育委員会と連携した研修の充実を図る。さらに、平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のバージョン」を随時更新し、効果的な広報に努めるとともに、要請を受けた学校の要望に応じた研修内容を工夫し、その充実を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 コンプライアンス推進室</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	9						実績		23	29	33	44	20	目標値(H28)					20		達成率(H28)					220.0%	
年度	H23	H25	H26	H27	H28	H29																																																																			
基準値(H23)	72																																																																								
実績		75	76	78	78	80																																																																			
目標値(H29)					80	80																																																																			
達成率(H28)					97.5%																																																																				
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																			
基準値(H24)	9																																																																								
実績		23	29	33	44	20																																																																			
目標値(H28)					20																																																																				
達成率(H28)					220.0%																																																																				
101	希望に導く教職員の育成	<p>教員の資質能力向上</p> <p>各県立学校、市町村教育委員会におけるコンプライアンス研修(要請)の実施回数</p> <table border="1"> <caption>コンプライアンス研修実施回数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>23</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>220.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>担当課 コンプライアンス推進室</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	9						実績		23	29	33	44	20	目標値(H28)					20		達成率(H28)					220.0%		<p>事業目的</p> <p>これまでの取組を拡充させ、全教職員の「コンプライアンス意識」の更なる高揚を目指し、コンプライアンス推進室から講師を派遣して、各所属におけるコンプライアンス研修の充実を図る。</p> <p>取組状況(H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 推進員会議、各校長会等の各種会議において、講師派遣の活用を促した。 2 平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のバージョン」の啓発に努めた。 3 「信頼される学校・教職員へのステップ(改訂版)」の活用を促した。 <p>(1) 県立学校(20校)、市町村教育委員会主催の研修会(1)、小中学校(20校)、市立高等学校、都市小学校教育頭会</p> <table border="1"> <caption>コンプライアンス研修実施状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>23</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>目標値(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>220.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>(成果) 各校(所属)の課題や実情に応じた研修内容を作成し、ポイントを絞った研修が実施できることに加え、直接各校の教職員と接してその声を聞くことができたため、大きな意義がある。また、講師派遣の周知も浸透しつつあり、校内研修において年間計画に複数回要請研修を位置づける学校も出てきた。実施後のアンケートでも、肯定的評価は98%を超えた。また、今後の業務において、「大変役立つ」との評価は66%を教えた。</p> <p>(課題) 昨年度に続いて要請を受けた学校も多かったが、まだ未実施の学校も多いため、継続的な研修実施に加えて、新たな研修実施校を増やすために、年度当初に開催される「コンプライアンス推進員会議」において、より積極的に講師派遣を呼びかける。また、市町村教育委員会に働きかけ、県教育委員会と連携した研修の充実を図る。さらに、平成26年度に開設した「コンプライアンス研修のバージョン」を随時更新し、効果的な広報に努めるとともに、要請を受けた学校の要望に応じた研修内容を工夫し、その充実を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>担当課 コンプライアンス推進室</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	9						実績		23	29	33	44	20	目標値(H28)					20		達成率(H28)					220.0%	
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																			
基準値(H24)	9																																																																								
実績		23	29	33	44	20																																																																			
目標値(H28)					20																																																																				
達成率(H28)					220.0%																																																																				
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																			
基準値(H24)	9																																																																								
実績		23	29	33	44	20																																																																			
目標値(H28)					20																																																																				
達成率(H28)					220.0%																																																																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																												
102	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 精神科医等による相談事業、メンタルヘルスマネジメントセミナー、職場復帰支援事業等の実施	<p>事業目的</p> <p>一次予防として、職場のメンタルヘルス対策に熟知した管理職を養成することで、職場単位でのメンタルヘルス対策の推進やメンタルヘルス不調者の早期発見・早期対応に努め、出前講座で教職員のメンタルヘルスに対する理解を促進する。また、二次予防として、専門相談員による相談事業により、教職員個人の悩み・不安等の軽減を図る。さらに、三次予防として、教職員職場復帰支援により、メンタルヘルス不調による病休から復職した教員やその管理職への助言指導及び経過観察をすることで再発防止に努める。</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 一次予防 <ul style="list-style-type: none"> 「メンタルヘルスマネジメント管理職支援セミナー」は、新任教頭等を対象として3回実施し、104名が受講した。 「出前講座」は希望校21校582名が受講した。 「心の健康チェック事業」でストレスチェック及び所属毎の集団分析を実施し、教職員の88.2%が受検した。 二次予防 <ul style="list-style-type: none"> 「教職員相談事業」は、12名の専門相談員が相談を実施し、128件の相談に対応した。 「教職員健康相談事業」は、福利厚生課保健師が実施し、総計37件（面接21件、電話等13件、支援会議3件）の個別対応に努めた。 三次予防 <ul style="list-style-type: none"> 「教職員職場復帰支援事業」は、6名の対象者に対し、臨床心理士を所属校に派遣し面談等を実施した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位：—)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進 進</td> <td></td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進</td> <td>予防的取組・ 復帰支援促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) メンタルヘルス対策について一次予防から三次予防まで体系的に取り組んだ。 新たにストレスチェックを実施することで、一次予防としてメンタルヘルスの気づきを促すことができた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) ストレスチェックの結果を踏まえ、高ストレス者や所属単位の傾向等に対応したメンタルヘルス対策の充実を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>ストレスチェックの実施により、教職員のメンタルヘルスの現状を把握し、各所属の管理監督者及び専門機関、共済組合等関係機関との連携のもと、実施に即したメンタルヘルス対策の充実にとともに、より受検しやすしい制度となるよう改善に努め、ストレスチェックの受検率向上を図る。また、ストレスや悩みを抱えた教職員が気軽に相談できよう、多様な媒体により相談窓口等の周知を図る。</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>糖尿病等生活習慣病対策の推進により、健康の保持増進及び医療費抑制を図り、教職員が安心して教育活動に専念し能力を十分発揮できるための健康支援とする。</p> <p>事業目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 「定期健康診断」は全教職員が受診できるよう各等校衛生管理者と連携実施し、人間ドックを含め98.6%が受診した。また、特定健康診断の実施主体である共済組合へ検査データを提供することにより、特定保健指導の実施につなげた。 「教職員健康支援事業」では教職員に対して定期健康診断等の結果に応じた助言指導及び集団教育を実施し、特定保健指導の受診勧奨につなげた。 定期健康診断等の結果の統計を各衛生管理者に通知し、有所見率の傾向など生活習慣病予防に必要な情報を共有することにより、所属での啓発につなげた。 <p>取組状況 (H28年度分)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位：—)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td>生活習慣の 改善促進</td> <td></td> <td>生活習慣の改善 促進</td> <td>生活習慣の改善 促進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 定期健康診断等の受診率は高率であり、各教職員が自分の体の健康状態を把握するきっかけとなっている。また、健康診断に基づく事後指導の実施により、個人毎の生活習慣改善につなげられている。さらに、出前講座を実施することにより、職場ぐるみで取り組む生活習慣改善のきっかけづくりとなった。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 教職員個人の生活習慣改善につなげるためには、個別支援が不可欠であり、共済組合との協働により、個別の健康情報提供を行うとともに、積極的な受診勧奨により特定保健指導の実施率を向上させることが重要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>生活習慣病予防の出前講座等、「教職員健康支援事業」の更なる利用促進を図る。さらに、共済組合等関係機関と連携し、個人の健康結果に即した情報提供や特定保健指導等の個別指導の実施により、生活習慣改善への指導・啓発をすすめる。</p>	(単位：—)				基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進		予防的取組・ 復帰支援促進	予防的取組・ 復帰支援促進	(単位：—)				基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進		生活習慣の改善 促進	生活習慣の改善 促進
(単位：—)																																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																							
—	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進	予防的取組・ 復帰支援促進 進		予防的取組・ 復帰支援促進	予防的取組・ 復帰支援促進																																							
(単位：—)																																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)																																							
—	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進	生活習慣の 改善促進		生活習慣の改善 促進	生活習慣の改善 促進																																							
103	希望に導く教職員の育成	メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による 教職員の健康の保持増進	<p>事業目的</p> <p>メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による 教職員の健康の保持増進</p> <p>事業目的</p> <p>メンタルヘルス・健康維持 特定健康診断・特定保健指導への積極的な対応による 教職員の健康の保持増進</p> <p>取組状況 (H28年度分)</p> <p>希望に導く教職員の育成</p>																																												

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
104	教育機関の運営体制の充実	校務の情報化 県立学校への総務事務・学校支援システムの導入 担当課 総合教育センター 施策・成果指標 徳島県教育振興計画の進行管理 改善・見直しの実施	<p>校務の情報化により教職員の校務負担を軽減し、教職員が生徒と向き合う時間等を増加させ、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>旅費システムとの連携を開始するとともに、学校支援システムにおいて教務日記作成機能、行事予定作成機能等の機能追加を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進(総務事務/システムの導入)</td> <td>推進(学校支援システムの導入)</td> <td>推進(総務事務システム連携機能の導入)</td> <td>推進(総務事務システム連携機能の導入)</td> <td></td> <td></td> <td>推進(総務事務システムの連携機能の導入)</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 旅費システムとの連携を開始するとともに、学校支援システムにおいて教務日記作成機能、行事予定作成機能等の機能追加を実施することにより、効率的な校務処理に向けた取組を推進することができた。</p> <p>(課題) 学校支援システムの円滑な運用を推進するため、システムの機能改善が必要である。また、システムは平成26年度入学生から年度進行で導入しており、平成29年度においても総務事務システム及び学校支援システムの機能連携を含めたシステム運用及び利用に係る教職員への支援が必要である。</p> <p>学校支援システムにおいて、保健関係データ処理機能等の機能改善を実施し、教職員の校務負担の軽減を図るとともに、教職員に、システムの円滑な運用に取り組む。</p> <p>また、総務事務システム及び学校支援システムの機能連携を含め、システムの円滑な運用に取り組むとともに、教職員がシステム利用に係る支援の充実を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	推進(総務事務/システムの導入)	推進(学校支援システムの導入)	推進(総務事務システム連携機能の導入)	推進(総務事務システム連携機能の導入)			推進(総務事務システムの連携機能の導入)	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	推進(総務事務/システムの導入)	推進(学校支援システムの導入)	推進(総務事務システム連携機能の導入)	推進(総務事務システム連携機能の導入)			推進(総務事務システムの連携機能の導入)	推進													
105	教育機関の運営体制の充実	担当課 教育政策課	<p>事業目的</p> <p>「徳島県教育振興計画(第2期)」の4年目段階での進捗状況を確認することができた。また、そのことにより、適切に成果指標や目標値を見直すことができた。</p> <p>(課題) 見直しの結果を目標達成につなげるとともに、新規の施策の内容を確実に振興計画に取り込んでいく必要がある。</p> <p>「徳島県教育振興計画(第2期)」の改善・見直し結果については、教育委員会に報告するとともに、ホームページで公表する。また、今後も点検・評価の結果を受けて改善・見直しを実施し、各種施策の効果を高めるべく必要が図っていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H28)</th> <th>目標値(H28)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：—)</p> <p>事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>毎年度末に、「徳島県教育振興計画(第2期)」の次年度に向けた事業内容や達成目標等について検討を行い、計画の改善・見直しを実施することにより、本県教育行政の各種施策の効果的・効率的推進や組織運営の充実を図る。</p> <p>教育行政の点検・評価の結果を反映させるとともに、「徳島県教育振興計画(第2期)」策定後の社会状況の変化や新たなニーズに対応するという視点を取り入れて、計画の改善・見直しを実施した。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)	—	実施	実施	実施	実施			実施	実施
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H28)	目標値(H29)													
—	実施	実施	実施	実施			実施	実施													

番号	106	施策・成果指標 徳島県教育振興計画の進捗管理 点検・評価委員会の開催	事業目的と平成28年度の取組状況、評価、今後の取組方針 外部有識者委員からなる徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、教育振興計画の進捗状況について、点検・評価を実施し、県議会に報告することにより、徳島県教育振興計画を確実に実施する。 8月10日に徳島県教育行政点検・評価委員会を開催し、点検・評価委員からご意見・ご助言をいただいた。その結果に関する報告書を作成し、県議会に提出するとともに、県のホームページを通じて公表した。																
推進項目	教育機関の運営体制の充実		(単位：ー) <table border="1" data-bbox="263 291 319 1232"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H28)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>ー</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </table> (成果) 平成28年度は「徳島県教育振興計画(第2期)」に基づき施策についての3回目の点検・評価委員会であったが、グローバル教育、特別支援教育、キャリア教育などについて有意義な意見を頂くことができ、施策を実施する上での指針とすることができた。 (課題) 点検・評価委員の意見をさらに伺うために、会議の進め方等に工夫が必要である。 点検・評価委員の様々な意見を今まで以上に伺うことができようように会議の進め方や参加者等、点検・評価委員会のあり方を検討する。そして、会議で頂いた意見を「徳島県教育振興計画(第3期)」の策定に適切につなげていく。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H29)	ー	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H28)	目標値(H29)												
ー	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施												
担当課	教育政策課																		

